新京日日新聞
夕刊
七月三日（火）

實業部の手で 全滿鑛産の根本的資源調査 各省に鑛業監督署

全滿鑛産資源の開發は、治安維持の一段落と共に愈よ本年度より實業部に於て、根本的資源調査を開始し、鑛産資源の開發に努める事となつたが右調査の要領は大体次の如くである

一、鑛業資源の分布狀況調査　本調査は各種調査試驗研究機關と緊密なる連絡協調により之を行ひ、鑛産資源の開發に資するもので、鐵、石炭、金、銀、鉛、錫、オイルシエール、硅石、石綿ニツケル其他主要鑛産物について調査を行ひ、鑛産物分布圖を作成し、埋藏量を概査する

一、鑛業監督署の新設　從來は各省に於て鑛山の監督を行つて居たが、鑛山の如き主要國有資源の監理は特に中央機關の監督を必要とするもので新年度に於て二十二萬餘圓の豫算を以て各省に鑛業監督署を新設する

一、鑛産物の價格、利用狀況及需給關係の調査ハイラルチチハル、ハルビン、吉林奉天、營口、安東、承德等の主要集散地需要地に就て夫々調査を行ふ

一、鑛業經營の狀態調査　各種鑛業の經營に就て左の事項を調査する

（イ）企業經營の沿革
（ロ）經營組織
（ハ）鑛區の推定、埋藏量及鑛物の主成分
（ニ）生産額及生産能力

比島獨立の志士の爲 一日本青年が石碑を建立

【東京國通】明治三十四年フイリツピンの獨立叛亂によつて四十四名の志士が日本に亡命した、その中にドミナドルユソンと云ふ二十六歳の青年あり岩城硝子製造所長岩城倉三助君（當時十四歳）と仲好しとなり亡命の翌年ドミナルド君は異國に客死し遺骸は龜井戸共同墓地に淋しく葬られた、爾來星霜移つて三十三年岩城氏はこの哀れな志士のため石碑を建て靈を慰めてやらうと目下横濱に在つてフイリツピン島に星條旗見える間は歸國しないと頑張つて居る亡命のカルテ將軍に碑文を認めて貰ひ愈々こゝに來る五日志士の墓が奇しき緣に結ばれた一日本人の手によつて同墓地に建立されることゝなつた

參謀本部赤タイピスト リンチ共産黨事件人物と關係か

【東京國通】既報赤の嫌疑を受けて三十日檢擧された參謀本部雇のタイピスト八谷なみ同妹てる他三名は取調べの結果、八谷並に妹の他は赤の嫌疑一切はれたので釋放された八谷姉妹はリンチ共産黨事件の人物と何等かの關係がある模樣で引續き取調べ中である

國府新輸入税率 三日より實施

【上海二日發國通】國民政府の改訂輸入新税率は二日午後五時當地海關より公告三日より實施する事となつた

北鐵東部線方面の農作物狀況 五分から一割程度の減收か

滿鐵調査に依る北鐵東部線方面夏至作況季報は次の如くである、春耕時期に於て氣温共に低く解氷も遲れ同時に春耕資金の涸潤も遲延したゝめ各作物の播種は例年に比し約一週間の遲延を見その上五月中旬よりの降雨に惠せられ伸長を阻害せられたが昨年の降水不足に比すれは本年の伸長度は順調であり今後の天候に過濕過乾の害がなければ秋收作物の作況は好轉すると見られるも耕地荒廢して雜草地となれるもの三十パーセント、耕地で播種を終らざるもの二十パーセントが見られ耕作面積の減少により高粱、粟、小麥等は一割乃至五分程度の減收は餘儀なきものと豫想せられて居る、今これを作物別に見るに

（イ）大豆、發芽は概して良好であつたがその後の降雨に伸長を阻まれ夏至に於ける莖長は左の如く餘り良好ではないが、今後の天候が順調であれば平年通りの陌當一、二三四瓩内外を見込まれて居る

	莖長（單位糎）	
上號	一三、二	
阿什河	九、四	
一面坡	一〇、六	
海林	一〇、一	
寧古塔	八、五	

（ロ）高粱、大豆と同じく五月中旬よりの降雨曇天の連續に惠ひされ、生育停頓の狀況にあり平年收穫高の五パーセント内外の減收は止むなきものとし陌當一、二〇七瓩と豫想されて居る

	莖長（單位糎）
上號	三四、六
阿汁河	二五、八
一面坡	二六、三
海林	二五、四
寧古塔	二七、大

（ハ）粟、播種後冷涼過濕に發芽充分ならず、夏至に於ける伸長も例年に比し著しく遲れて居る現況より觀て今後の天候最適と見ても一割の減收を見込み陌當り一、〇八〇瓩見當と見て居る

	莖長（單位糎）
上號	三九、六
阿汁河	三九、六
一面坡	四一、二
海林	三四、九
寧古塔	三九、七

（ニ）小麥、四月下旬播種を了し發芽當時は生育不良であつたが、その後多濕のため莖丈伸長せず短少の儘穗孕

	莖長（單位糎）
上號	一二、四
阿汁河	一三、五
一面坡	一二、四
海林	一二、九
寧古塔	一四、五

平年作に至るには天候と赤銹病發生の如何に待つ外なく、最良の場合を豫想して陌當九二七瓩内外と豫想せらる

南部線雙城五家間不通

【ハルビン國通】打ち續く降雨のため南部線雙城、五家間は遂に出水二日陸線不通となる

日本生絲進出防遏に 佛伊當業者提携

【東京國通】或筋よりの報導によれば最近に於ける日本生糸の市場への躍進振りは物凄くこれに對しフランスの生糸業者はイタリーの同業者と提携してイタリーよりフランスにイタリー生糸の廉賣を試み向ふ三ケ月間これを行ひ然かもその結果日本生糸の輸入增加の狀態を防止せざるに於いてはフランスは日本生糸に對する輸入制限を斷行せんとする形勢にあり、日本生糸防遏のためイタリー生糸の廉賣を許容する一方フランスは必ずや何物かの代償をイタリーから約束さるべくその孰れにせよ本邦生糸業者にとつては更に當面の難局に逢着した譯である

黒龍江省 金融合作社創立計畫進む

【チチハル國通】黒龍江省は事變後相續く匪、水害の災ひを受け二ケ年に亘る春耕資金の貸し出しを見るに至つたとは謂へ北滿の農村窮狀は一般的に救濟せらるべきものでなく、此の儘放任すれば、將來憂ふべき農村經濟上の打撃を蒙る事を豫想し、省公署に於ては農村の金融を圓滑にし中央銀行から資金貸出しの斡旋及ひ、その取立ての監督機關とする金融合作社の創立を企劃し中央に計る企あり、之が認可を受けその手始めとして六月廿二日克山縣に模範的創立を見、着々業務進捗しつゝある、尚本年中には綏河、拜泉、依安其他の十數縣に亘り開設すべく奔走中である

南部熱河地方に於る 經濟事情（一）

陰山々系を隔てゝ支那と境を接ずる熱河は滿洲國の老將軍張海鵬氏が省長兼省警備軍司令官として赴任して以來、省政は日に刷新され軍閥搾取時代の佛を一新し省民は喜々として牧畜に、農耕に或は交易にいそしんでゐる、いま熱河省南部地方の狀況につき地勢沿革、交通、産業、商業及び金融、貿易並に最近における邦人發展狀況についてその姿を素描してみよう

地勢　熱河省は面積七十餘方里、推定人口二百五十萬その内三、四十萬人は蒙古人である　全省域は圍場、平泉兩縣内を西北から東南に斜走する分水嶺によつて二分されてゐる、北部は概ね高原地帯に屬し赤峰を中心都市として中未開の地域から未だ脱してゐない、南部は陰山々系が錯綜してゐて、奇峰林立し地形極めて險峻、灤河本支流の奔流する溪谷の間に狹長な平地を見るのみで、承德、平泉、灤平、隆化、豐寧、青龍興隆等々の諸縣が承德を中心都市としてこの地域に含まれてゐる、氣候は北部地域に比較して稍々海洋的性質を帶びてゐる、殊に灤河流域は寒暑の差比較的大ならず降水量も多い以下南部熱河地方の情況を左に紹介する

交通　承德を中心とする本地域は遼金等の故地で元朝この方蒙古族の游牧地となつてゐたが、前清順治帝の支那本部に君臨するや地理的に首都北京と極めて接近してゐるといふ關係から自衛上八旗兵を駐防させて蒙古札薩旗を置かなかつた、越えて康熙帝は承德を北邊統治の本據地にせんとの考へから承德に避暑山莊を造營した、又、木蘭圍場を現在の圍場縣の地におき毎年秋獵の盛儀を行つた、乾隆帝は承德離宮の内外に二十有餘の佛寺喇嘛廟を點綴し、蒙古民族に對する恩威併施の政策を具現した、爾來、滿蒙兩民族の感情は極めて親睦の間柄にあつた、民國成るや熱河を特別區域とし承德を都城して來た、滿洲國政府また承德を熱河省の首都とし、省公署省警備軍司令部其他省政治の諸機關を設置してゐる

沿革　熱河省における在來の輸送機關は馬車および駱駝、騾、驢等による舊時代的交通運輸方法に事存してゐたが、客年以來自動車運輸の途が開け幹線國道の築路工事も大いに進捗し之と併行して國道以外の主要路線も亦當局において鋭意改修に力を注いでゐるため省内における自動車道路網の發達は顯著なものがある、たゞ現在の狀態では運賃不廉のうらみがある

水運　省内の水運は灤河を以て唯一のものとし約一千の民船が承德の西約四邦里の灤平から東南下流地域との間に往來してゐるが夏期增水期には承德邊まで達し得る、多季は河水結氷し舟運は全く不能狀態に入り、毎年四月下旬に至り就航し十一月上旬に終るを常としてゐる

伊通河氾濫

伊通河は最近の雨で次第に水かさを增してゐたが今朝俄かに一丈五尺余も增水氾濫しは

拓務省出張所長更迭

鄧鐵梅 前非を悔ゆ

鄭希賢氏 褒狀を受く

【奉天國通】……た奉天混成第二旅將校營長鄭希賢氏は今回張軍政部大臣より褒狀を授與された

南關全安橋危險

……じめ兩岸の田畠をあらし目下南關全安橋は危險に瀕し和順街に浸水せんとしてゐるので附近一帶の住民は續々高所に避難してゐる、四道街、南關警察廳、尚は首都警察署からは救援隊が繰出された、今明日の降雨如何によつては相當廣範圍に亘り氾濫するものと思はれ兩岸の民家は危險に瀕してゐる

葡和間に調印を見た通商條約内容

【東京國通】在ポルトガル笠間公使より二日外務省に達したる報告によれば、六月廿八日リスボンに於てポルトガルオランダ間に通商條約調印された旨ポルトガル外相より發表したが、その條約中に於て興味ある點は

一、將來締約國の何れかゞ輸入割當制を敷く場合に於ては一九三一年以後三ケ年間の平均輸入額だけは最少限度に於て之を許可すべしの意向にして、オランダの提唱にかゝるバタビヤ日蘭會商に於て東方輸入制限基準年度……

生命線を行く（二百十六）

國友雄吉（作）
荒川芳三郎（畫）

寂しい諦念
伸一は、實際のところ、まだ半信半疑の眼で、勝代を眺めてゐるのである。
けれども、上野驛から歸つての久彌の話を聞くと、千鶴子との間を、もうどうしても、諦めずには居られなくなつた。
「やつぱり、彼女を見損なつたのだ」
さういつた失望が、忽ち彼を觀念させてしまつた。
「けれども考へてみれば、彼はもと〳〵自分の物では無いのではないか。だから、チチハルで會はない以前だと思つて、諦めてしまへば、それで宜いんだ」
彼は、強ひて、斷念しやうとしたけれど、やつぱり、……
しまひには、到底チツとして居られなくなつたので、それから間もなく、彼は、勝代のもとへ……だのである。

大藏問題の責を負ひ 内閣遂に總辭職

午前十時二十五分參內

(東京國通至急報) 閣議は十時二十五分開會閣僚の辭表をとりまとめ齋藤首相は直に參內これをけつ下に捧呈した(號外再錄)

次期政權の見透し付かず 大命再降下說最有力

【東京國通】齋藤內閣は愈々今三日總辭職を決行するが、次期政權の

=歸趨= については、全く確固たる見透し付かず、たゞ下馬評として齋藤內閣大命再降下說、宇垣總督、一木男、淸浦伯、平沼男其他諸說紛々たる混沌狀態で各方面の情報を綜合するに宇垣總督に對しては軍部關係方面に於て頗る强硬なる反對氣運あり、宇垣內閣實現の一步手前には相當なる困難が豫想され、更に一木男說については、元老等上層方面に於て一木男を樞府議長の要職に迎へたのは將來に於ける樞府議長の地位の重大性を考慮しての結果で、而も就任日尙淺き點からしても輕々に動かすは不可であるとの論强く、更に淸浦伯は非常時局を擔當するには餘りに老齡すぎ、平沼男に就ては唯一の根擔と觀らるゝ軍部關係に於ても今日に於ては往年の如き密接なる關係は望まれず、樞府議長更迭の上層方面の期待の那邊に存するやも既に明瞭であるとして否認說が强い、其他に就ても種々の噂はあるが落付く處は後繼難のあげく齋藤內閣大命再降下說に逢着する順序となりはしないかとの見解が有力である、第二次齋藤內閣は全く新內閣として閣僚の大改造が要求されその際對政黨關係に於いても一新さるゝものと觀られてゐる、更に以上の諸說を全然別個に單に抽象論として政民兩黨總裁を

=包含= せしめ得る大人物中心內閣說が齋藤內閣再降下の場合に於いてもかゝる名實共に擧國一致內閣の實現が一部に於いて期待されてゐる

後繼內閣には重要國策は變更させぬ

=首相各閣僚に意見開陳=

【東京國通】齋藤首相は既に連袂辭職を決意の結果二日午前午後に亘り後藤、林、山本、廣田各幕僚を個別的に首相官邸に招致して引責辭職の決意を述べたが齋藤首相は右會見で如何なる後繼內閣が立つとも現內閣で決定した外交、國防、滿洲問題、農村根本策の樣な重要國策方針は將來と雖も變改させぬことを必要とする即ち林陸相に對しては飽くまでも既定方針を遂行させたい希望を述べ廣田外相に對しては特に對滿洲國々策は現狀の方針で進みたい、對支方針も折角軌道に乘つて居るのであるからこれを覆す事なき樣進むべきだと云ふ意味を特に開陳したとの事でこれ又一種の大命再降下工作でないかと觀られて居る

園公 御殿場へ

【御殿場國通】西園寺公は三日興津發御殿場の別莊に向つた

軍部の多數は 平沼男を支持

(東京國通) 次期內閣に對し軍部多數は非常時突破に他の凡有る顏觸れよりも較比的多くの貢獻をなし得る人物網羅の見地より平沼男を支持して居る

西園寺公の御下問奉答の上京疑問

【東京國通】齋藤內閣總辭職の上は　天皇陛下には後繼內閣に就き西園寺公に御下問あらせらるゝ趣であるが、西園寺公は最近健康勝れず、三日醫師の勸告で御殿場の別莊に轉地することになつたので直ちに上京して御下問に奉答出來得るや否やは今のところ疑問であるが　上京不可能の場合は即日勅使として多分鈴木侍從長を園公の許に差遣はされる段取りであつて、園公の奉答も兩三日中にあるであらうし、從つて各方面で次期の政權に向つて猛烈な運動が起るものと觀られて居る

後繼內閣首班は 山本內相が最適任

=玄人筋の後繼內閣評=

【東京國通】別項の如く齋藤首相への大命再降下說が右の諸候補者に比し俄然有力化して來てゐるが、大命再降下說に對しては今回の總辭職の理由が、唯單に大藏省事件に限局されたものでなく、前某閣僚奏薦の政治的責任より辭職するものであるから、その責任者に大命再降下する事は、責任政治の建前から絕對にあり得ず、結局內閣の政策を急變せず、且つ又我が現下の政局から見て、現內相山本達雄男を後繼內閣の首班に推す事が時節柄最も据りのよい內閣であり更に山本男は民政黨に黨籍ありと雖も政友會の高橋藏相同樣黨色極めて薄く鈴木若槻兩黨總裁より政治家として先輩格である等の理由で山本內閣說は政界の玄人筋で俄然有力視されるに至つた

藏相の態度如何が 成否の別れ道

【東京國通】假りに大命再降下としてその場合に更生齋藤內閣の閣僚より選に漏れる現閣僚は三土鐵相、南遞相、永井拓相、小山法相等で後藤農相にも疑問符が附せられて居る、而も齋藤首相に大命再降下の意味には高橋藏相を留任せしめ現在の高橋財政を今暫らく繼續させたいと云ふことが多分に含まれて居るが、その高橋藏相が果して此の場合留任なし得るか否かは更生齋藤內閣成否の鍵であり問題は極めてデリケートである

齋藤內閣壽命 二年一ヶ月と九日

スローモーション內閣として不死身といはれてゐた齋藤內閣も大藏事件の責を負ひ三日午前十時二十五分辭責をけつ下に捧呈總辭職をしたが、存立年數は比較的永く二ヶ年一ヶ月九日、これを歷代內閣と比較すると、これより永く存立した內閣は田中內閣の二ヶ年二ヶ月廿四日第四次原內閣三ヶ年一ヶ月十四日、第二次大隈內閣の二ヶ年五ヶ月廿四日、第二次桂內閣の三ヶ年一ヶ月十六日、第一次西園寺內閣の二ヶ年六ヶ月七日、第一次桂內閣の四ヶ年七ヶ月五日といふのが最長のレコード、これに次ぎ第二次伊藤內閣の四ヶ年一ヶ月十日がある、第一次伊藤內閣の二ヶ年四ヶ月八日で、齋藤內閣は濱口內閣の二ヶ年一ヶ月四日と略同樣である、最短レコードは第三次桂內閣の二ヶ月があり、平均すると長命の方で大正に入つてからは第四次原內閣第二次大隈內閣、田中內閣に次ぐ長命內閣である

六大目的を翳す 企劃局の內容

總務廳に於て立案中だつた企劃局官制は既に脫稿し法制局に廻附された、法制局の審議を俟つて早速公布の運びであるから、待望の企劃局の出現を見るのも近日中の事となつた

新年度豫算一八九、六一六圓を以て設置される企劃局は

一、滿洲國の國策、就中主要經濟產業政策大綱の樹立實現

二、實質上の總務廳長責任政治確立、積極的總務廳中心主義の徹底

三、日本側最高統制機關との圓滑且つ統一ある連絡

四、事業と財政の關係調整

五、諸政策實行の蹟を顧み將來の計畫に資す

六、各種統計及ひ經濟調査の統括と科學研究院の研究と相俟つて主要政策の樹立に資す

等の六大目的によるもので

一、財政政策
二、租稅政策
三、關稅政策
四、公債政策
五、金融(通貨)政策
六、產業(移民勞働)政策
七、農民對策

に分たれた財政經濟政策等に行政整理改革案が考究課題となつてゐる

組織機構は

一、局長は總務廳長又は次長の兼任とし

二、內部を二部及一科に分ち部長、參事官、事務官及屬官を置く

(イ)第一部は國策就中主要經濟政策大綱の計畫立案

(ロ)第二部は各種統計及經濟調査及之が統括並に重要諸政策實行の蹟の考査

三、第一部には總務廳法政局財政部、實業部、民政部等の官吏中の適任者を兼務せしむ

四、企劃局に參與及顧問を置く

(イ)參與は法制局長(總務次長)主計處長、關係各部次長又は總務司長を以て充任、參與を以て參與會を組織し局長を會長、參事官を幹事とし重要事項を附議し計畫と實施の融合を期す

(ロ)顧問は特任官吏又は學識經驗ある者に依囑し、その意見を求める

五、政府の綜合的科學研究所は企劃局と特に緊密なる關係を保持せしめると規定されて更に內部を左の如く分科されてゐる

一、第一部は科を分たず部長の下に專任參事官五名兼務者若干名を置き機動的機能的ならしめる

二、第二部は統計、資料經濟調査の三科に分ち

(イ)統計科は各種統計及ひ經濟調査

(ロ)資料科は文獻新聞雜誌等資料の蒐集、企劃局統計調査の刊行及ひ政府各種報告記錄の統轄

(ハ)考査科は企劃局に於て計畫せる政策實行の結果の考査及將來の計畫の參考材料の提供

三、右二部の外總務科を置き局長に直屬し文書その他庶務を司る

四、海外駐在參事官專任又は兼務の參事官を海外に駐在せしめ、財政經濟產業貿易等の事情を調査報告せしめる

因みに、企劃局設置に伴つて現在機關にも左の如き組織が行はれる、即ち

一、統計處の廢止

二、各都調査科と企劃局の緊密なる連絡保持

三、情報處は存置し、參事官をして同處に兼務せしめ主要政策樹立の基礎となる情報及要望の蒐集と主要政策實施の事前工作との萬全を期する

國幣十二三圓台 米の銀輪禁止で

米國の金銀複本位制問題で一時百圓台を割つた金票に對する滿洲國々幣はその後じり押しに高値を示してゐたや先き米國の銀輸出禁止で一段と强氣をみせて先月末以來百十圓台を前後してをり目下の氣配は依然强氣であるからこの調子なれば又元の百十二、三圓に回復するものとみられてゐる

『深雪』曳航中 沈沒目下搜查中

【東京國通】海軍省公表―「深雪」は佐世保廻航中浸水激しく曳航不能となり監視中であつたが二十九日夜半濃霧のため見失ひ驅逐艦ゝ飛行機で搜查中であるが、發見されず沈沒せりと認む、沈沒せる同艦後部には浮標を付しあるも引揚は困難である

治外法權撤廢 明年四月頃實現か

陸、海、外、司關係省の協議なる

【東京國通】日滿經濟ブロック問題は日滿兩國で研究中であるが未だ特筆すべき成果を擧げて居らず右は結局滿洲國內居住の各種民族の立場上の差別待遇に歸すると見られ眞に日滿經濟財政產業關係を根本的に且つ恒久的に確立するためには滿洲國の領事裁判權滿鐵附屬地行政權返還を實施すべしと論議せられ昨夏來陸軍では外務、海軍、司法の關係各省と協議中處ろ此程比較的容易に實施し得る領事裁判權撤廢より着手する方針を執るに大体主義の一致を見た

內閣總辭職と新京

對滿政策には何等變りあるまい

關東軍司令部の評

スローモーションも遂に終點に來た、內閣總辭職の報に接した關東軍司令部、大使館の意向をきけば關東軍では別にいふことはない、內閣が變つても國防政策、對滿、對農村政策は不變である、もし變るやうなことがあれば國民が承知しない、大使館では豫想してゐたことが來たまでゞ、後繼內閣の首班者は誰かといつた落ちついた空氣をみせてゐる

問題は後繼內閣

杉之原鮮銀支店長談

齋藤內閣總辭職の滿洲金融界にもたらす影響について朝鮮銀行新京支店支配人杉之原孝善氏は語る

財界は內外を問はず一寸したことにも微妙な動きをみせるもので內閣の總辭職は日本の財界には相當大きな波紋があると思ひますが滿洲の財界は日本財界の餘波が多少あるくらひなもので大したことはないと思ひます、然し後繼內閣は首班者その他關係閣僚によつてかなりの影響があると思ひます

本社號外に各方面の關心

後繼內閣は如何?

齋藤內閣遂に總辭職!の本社號外は例によつて逸早く、晴天のへきれきの如く配達されてゆく、この日常新京は前日までの鬱陶敷い空もからりと晴れて、此頃の政局を表徵したかのやうである、非常時局を背負つて齋藤內閣成立いらいこゝに約二ヶ年間何やかやと取沙汰されても相當な成績をあげたことは國民のひとしく感謝するところ、「大藏省事件がたゝつていよいよ止めましたか」と本社の號外を手に齋藤內閣に名殘りを惜しむものが多い、何をいつても全國民最大の關心は後繼內閣の顏觸れ如何で、「どうです?、やつぱり宇垣さんでせう……」はどうやら岡山黨か、それとも朝鮮出身者らしくあれやこれやと後繼內閣の下馬評で到るところ大賑ひだ、本社の號外締出し午前十一時

渡邊東拓新京支店長談

內閣の總辭職は別に滿洲の經濟界に反響はないでせう、問題は後繼內閣ですがこれは滿洲の一財界方面に限らず政界にも相當重大な關係があると思ひます

栗山條約局長 歸國

來京中の栗山外務省條約局長は治外法權撤廢問題に就き各方面を歷訪その任を終へ、三日午前九時發西尾參謀長、各參事官、吉澤總領事等多數の見送りを受け大連經由歸國の途に就いた

爆破の責を負ひ 殷鐵路局長辭表提出

滿支兩國をつなぐ晴れの第一回直通列車は不幸不逞の徒によつてその輝かしい第一步を傷けられたが某所入電によれば該國際列車開通の殊勳者北寧鐵路局長殷同氏は今回の爆彈事件に責任を感じ辭表を提出したと傳へられてゐる

直通列車爆破事件 栗原總領事注意を喚起

【東京國通】滿支直通列車爆破事件に就き外務省當局では如何なる措置を講ずるが未だ決定して居ないが、折角通車問題も解決したのであるからなるべく支那側に注意を喚起の上警備を嚴重にせしめ再びかゝる事件の發生せざる樣にする方針の如く現地に於いても多々我が天津駐屯軍司令官が各國司令官と協議の上適當の措置を講ずると共に栗原天津總領事をして河北省主席于學忠氏に對し注意を促す事となる模樣である

その日く

□齋藤內閣遂に總辭職を決行す案外片づく時は早かつた

□さて次期內閣組閣の大命はいづれへ、共に强力內閣の出現を俟つ

□存立期間二ヶ年一ヶ月と九日平均壽命からいへば長い方

□治法撤廢、明年四月より實施の準備なる由

□どうも今のまゝの滿洲國警官の如きでは贊成し兼ねる

人事往來

▲栗山局長(外務省條約局長)三日午前九時發大連經由內地へ

▲多田少將(軍政部顧問)三日午前八時三十分發哈市へ

▲ロールボップ氏(前神戸ブラジル代理總領事)同上

▲青木重臣氏(關東廳警務課長)二日午後六時五十五分着公主嶺から同日午後十時發旅順へ

▲フレー氏夫妻(米國ユービー社副社長)二日午後七時三十分着大連から

▲ハーロルト、クリペスショー氏(米國海軍大尉)二日午後九時四十五分發哈市へ

團体

▲港灣協會主催團三十名三日午前六時二十分發南行

▲長崎醫大生九名三日午前八時三十分發哈市へ四日午前七時歸京同日午後五時發吉林へ

▲鄭家屯扶倫小學生三十九名三日午前六時來京四日午前六時三十分發南行

▲愛媛縣兵事團乙班七名四日午前九時發南行

▲岩手縣々會議員十名四日午後三時二十五分歸京哈市から同日午後四時三十分發南行

▲布哇邦人觀光團十五名四日午前六時來京同日午前八時三十分發哈市へ六日午前七時發歸京太陽ホテル投宿七日午後十時發南行

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊 [illegible]
同先物 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナコンダ株 [illegible]

▲米棉

現物、七月限、九月限、十二月限、一月限、三月限、五月限 [illegible]

▲上海標金 休會
▲上海日本向 休會
▲上海倫敦向 休會
▲上海紐育向 休會
▲大連金鈔票 現物、寄付、歩値 七月十三日限 七月廿八日 [illegible]

各地市場

▲大連上海向 引値、高値、安値、出來高、鈔票對銀大洋現物 [illegible]
▲大連臺台向 [illegible]
▲阪神日米爲替 第一回 [illegible]
▲大阪株式 大株、大新、鐘紡、同新 [illegible]
▲同 短期 大新、鐘新、東新、日產 [illegible]
▲大連株式 五品、先限、豆新 [illegible]
▲大阪三品 當限、八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、先限 [illegible]
▲大阪棉花 當限、先限 [illegible]
▲橫濱生糸 現物、當限、先限 [illegible]
▲大阪期米 當限、中限、先限 [illegible]
▲仁川期米 當限、中限、先限 [illegible]
▲大連特產 寄付、引、未着
大豆 袋込、七月限、八月限、九月限、十月限 [illegible]
豆粕 現物、七月限 [illegible]
豆油 現物、八月限、九月限 [illegible]
高粱 現物、七月限、八月限、九月限、十月限 [illegible]

新京市況

特產 現物 出來高二車
大豆 [illegible]
錢鈔 鈔票對金票、現大洋對金票、國幣對金票、現大洋對鈔票、錢鈔先物 七月廿八日限 寄付 引値 [illegible]
出來高 四萬一千圓

本社扱ひ 忠靈塔寄附金 あと二三百圓で一萬圓
今更に各方面からの理解に 軍部も本社も感謝

忠靈塔寄附金本社扱ひは＝詳細＝なる寄附者芳名金額表を添へ忠靈顯彰會へ前後七回に亙り引繼ぎを了したが一方本紙上連日掲載し寄託者を明らかにしつゝ締切日を過ぎその累計は九千二百五十二圓卅二錢となつた、然し現在の新京で一萬圓に足らぬ、寄附額ではと思つてゐたところ、三日に至つて別項の通り新京鐵道事務所の金百圓の他、市內第二區町內會の七十余名の金三百四十八圓の寄託があり、受託總額遂に九千七百圓を＝突破＝した、まだ〻〻何かの都合でおくれての寄託があるゝのと見られる

慰勞の酒肴料を 忠靈塔へ寄附
新京鐵道事務所の美擧

新京鐵道事務所ではさきに、秩父御名代宮殿下御來京に際しての所員慰勞の意味で本社羽田鐵道部長から金百圓を贈られたが、芳賀所長は所員と諮り、これを分配したり或は飮食に費すよりも有意義の費途に充てやうと協議の末、忠靈塔建設基金に寄附することに決し三日本社で寄託を受けたが、同所などは滿鐵社員として割當てられた同寄附金があるところへさらに斯くした美擧に出でたことはさだめし地下の英靈も感激することであらう

滿電から二千圓 その他續々

忠靈塔寄附金は締切りも迫つてどし〳〵と各方面から集められたがその後の寄附者は南滿洲電氣株式會社二千圓、滿蒙毛織二千圓、南滿洲瓦斯株式會社一千圓、滿洲航空會社二千圓、兵工廠五千圓、東洋棉花株式會社一千圓、新京野球團四百十三圓四十五錢、國都建設局職員一同（第二回）百三十七圓六十二錢である

僞外交員に チヨロマカさる

日本橋通七十三番地寶洋行內宮本キクさん方へ去る四月二十五日曙町一丁目鐵屋北滿工業場外交員谷と稱する三十歲前後の內地人が訪れ女衣類の洗張の註文を取りに來たので同女が女物衣類三點時價五十圓を手渡したが、今日になるも持つてこず且つ前記場所にも工業場はなく詐欺にかゝつたことを氣付き、三日新京署に屆出た、最近こうした僞外交員が多いから一般家庭で特に注意されたいと

新京城內に 赤痢患者發生

城內西三道街陳李氏（五〇）は二日午後一時頃俄かに腹痛を催したので直ちに近くの醫師の診斷を受けたところ眞性赤痢と判明尙附近にも二名の疑似患者が現はれたので首都警察廳では大狼狽し附近一帶の大消毒を行つた

親日の獨ユ博士 滿洲視察

さきに親しく日本に在留、歸國後獨逸ライプチツヒ大學日本學講座を擔當して日獨文化連絡に貢獻を續けてゐるユーバーシャル博士は去る三十日神戶出帆大連に着いたがその後は旅順、奉天、撫順、新京ハルビン等各方面を視察、約一ヶ月滯滿の豫定である

チブス豫防錠 無代頒布

氣候が不順なので各種傳染病がそろ〳〵頭をもたげて來たので衛生當局はさきに赤痢豫防錠を市民の希望により無代頒布したが更に腸チブス豫防錠が到着したので市內各警察官派出所と祝町の衛生隊でこれまた無代頒布するから速かに最寄りの個所から受取られたいと

岩手縣議一行 來京

岩手縣會議員一行は一日夜來京太平旅館に投宿し二日午後九時四十分發ハルビンへ向つた、一行の氏名左の通り

菊池和太郎、吉田耕一郎、瀨川松次郎、新山六助、平井三郎、佐々木銀左衛門、高瀨新太郎、及川正己、佐藤勝三郎、小館長右衛門、岩手縣屬水野駒太郎の諸氏

危い！兒童 馬車にひかれ
左大腿部を骨折重傷を負ふ

二日午前十一時二十分ごろ曙町東一條通と大和通の交叉點で、城內西四馬路三唉源四郎氏長男室町小學校一年生輝男（八）さんが學校からの歸途前記交叉點をさへぎらんとした時大和通から西公園に向ひ通行中の客馬車東頭道溝聚昌棧街十六號增福慶（二〇）が前車輪に引かけ左大腿部を骨折重傷を負した、屆出に接し新京署から係員が急行檢證を行ふとゝもに被害者を滿鐵病院に收容した、加害者は同署に引致し嚴重取調べ中である

興安軍官學校 一日開校式擧行

【鄭家屯國通】蒙古開發の先驅者たるべき人材の教育機關興安軍官學校の開校式は一日午前十一時三十分より鄭家屯滿鐵公所內の假校舍に於て擧行された、第一回入校生は十七歲より二十二歲迄の內蒙古より撰りすぐつた優秀青年で校長兼興安省南警備軍司令官巴特馬拉佈坦氏より訓示あり即日授業は開始されたが該校は最初の一ヶ年を普通教育に殘餘の一個年を以つて軍事その他の實務教育に充て滿二個年を以て卒業する事とし卒業後は各自蒙古民族の指導者として活躍すべく頼母しい意氣込みを見せて居る、尙同校の組織は前記巴校長の下に下永最高顧問以下教官、教師、職員等多數を擁し日本の幼年、士官兩校の教育方針を加味し他に研究資料部を設け將來蒙古研究の足場としてその方面に獨自の立場を築かんとして居る（寫眞は學校正門）

夏枯れの前兆
新京驛の手小荷物の取扱減少 でも汗だくの係員

新京驛手小荷物取扱所の六月中に扱つた發着手小荷物總數は二萬八千六百七十一個、料金にして五萬二千四十四圓四十八錢、前月の三萬五千四百八十四個、五萬四千七百十七圓八十四錢からみると六千八百十三個二千六百七十三圓三十六錢の減少を來たしてゐるなにも五月より六月が不況になつたといふ譯でもないが夏枯れの前兆ともみられてゐるなほ六月中手小荷物發着內譯は次の通り

▲發送通常手荷物生果九個七圓二十五錢、野菜十一個七圓三十四錢、鮮魚三個一圓七十錢、食料品三十九個、八圓六十二錢、その他四千三十九個三千九百二十六圓四十九錢、特種小荷物金銀貨二十三個二百七十圓九十錢、金銀塊十七個百五十二圓三十錢、その他二千九百十個八百九十三圓八十三錢手荷物は三千百二十九個二千九百九十九圓五十一錢

▲到着通常小荷物生果一千六百九十一個一千九百八十二圓十錢、野菜一千百九十四個二千六百四十九圓十八錢鮮魚三千二百九十五個九千八百八圓八十九錢、食料品その他五百四十四個六百二十六圓三十七錢、その他一萬一千三百九十四個二萬五千九百四十圓三十八錢、特種小荷物五千三百七十三個二千七百六十九圓六十二錢金銀貨塊の發送は相當あつたが、到着としては一個もない

故大垣理事遺骨 あす新京着 葬儀は五日

新京商工會議所理事大垣鶴藏氏の遺骨は四日午後七時新京驛着急行で歸着、葬儀は五日執行されるはずである

賊と通謀の不逞漢
二日城內で首都警察廳員に逮捕

双城堡警察管內において巧みに官憲の目をのがれ匪賊と通謀してゐた河北省生れ住所不定、張福寬（四〇）なるものが昨夜秘かに入京、城內東三馬路立法客棧に止宿してゐるのを首都警察廳員が嗅ぎつけ二日午後一時張の居間を襲ひ有無を言はさず逮捕した、張は長春縣下一帶に於いて多年暴威を振つてゐた匪首天幫と通じ數回に亙つて銃器、彈藥を供給し天幫が良民より掠め取つた金品のお余りを頂戴してゐた卑劣漢で尙ほ余罪ある見込みで目下嚴重取調べ中である

谷本社前經理 本社員招待

本社前經理谷啓二郎氏は今回辭任に際し、一日午後五時から本社員全部を中央通の自宅に招待、宴に先だち谷氏から懇篤なる挨拶があり、一同を代表して十河總務不參のため松本編輯長「本社の今日あるは谷氏の功勞に俟つところ多い」と謝辭を述べて開宴、宴半ばにして法東院渡邊旭登さんの琵琶の余興などあり、開花の美妓連盃間を斡旋して主客歡を十二分に盡し最後に谷氏並に本社の萬歲を三唱して同十時散會した

街の日記
新京菓業會 創立發會式

既報、新京における製菓業者材料商を打つて一丸とした新京菓業會（全滿菓業會改む）創立發會式は一日午後五時から大和通り益興樓で開かれた式は中原會長の開會の辭に始り樫原書記が一昨年來の同會創立準備に關する經過報告をなし早坂幹事長の挨拶、來賓を代表して梅園の梅井藤作氏の祝辭あり祝電朗讀、閉會終つて懇親會に移り宴も酣なころ記念撮影萬歲を三唱午後八時解散した、なほ當日は各職人の腕を競ふ作品の展覽もあつた、同會の役員は次の通り

一、會長 中原中史
一、副會長 加藤文治郎
一、會計 中村和市
一、書記 樫原幸次郎
一、幹事長 早坂俊秀
一、幹事 中野辰次郎
同 佐久間勇
同 朝枝軍次
同 堀江常次
同 大井忠太

なほ同會は菓子屋材料商の職人、小店員、店員を正會員とし店主を名譽會員とするものである

金龍洋行賣出し

在京各役所會社では既にボーナス、慰勞金が配給されて官吏や社員、店員の奧さんたちはお盆の準備にとりかゝつてゐる、氣の早い商人たちは早くも中元大賣出しの準備でこれ亦大童、金龍洋行では來る三、四、五日の三日間太子堂において中元進物用品、硝子器具、有田燒、日用品その他食器具一式の大賣出しを始めると、これから各商店でもいまが一年のかき入れ時とばかりに大賣出しののぼり、宣傳ビラで街は色とりどりに飾られる、これで羽衣町のチンドン屋も忙がしいことであらう

ヤマト商會 支店開業

國產品普久、國產品の優秀を標傍して過般滿洲モータース會社より分離した元滿洲モータース專務葛和善雄氏を中心として營業を開始した國產品自動車部分品專門ヤマト商會は愈々陣容成り大通を本店として滿洲主要都市に支店を設け新京は室町四丁目四、三井物產前に看板を擧げ中村昌次郎氏を支店長とし中山定雄、野村武雄、田中義雄氏等之を補け營業活躍中であるが近く五十萬圓の株式會社に設立替の筈であり同店の前途大に期待せられてゐる

寄附

白菊町浴場丸山一夫氏は嚴父忌明に際し二日西廣場小學校父兄會へ金二十圓を寄附

けふの銀相場

鈔票對金票 一二六圓八〇錢
現大洋對金票 一二三圓一〇錢
國幣對金票 一〇九圓〇〇錢
現大洋對鈔票 九六圓八〇錢

日米陸上競技 米選手決定

【ミルウオーキー「ウイスコンシン」一日發國通】今秋東京で行はれる日米對抗陸上競技會に全米陸上競技聯盟から派遣される米國選手は左の十三名と決定した、一行はボールドウイン大學のコーチャーたるジョン、マギー氏に引率されて來る八月十五日頃米國を出發し、日本に向ふ豫定である

□百米、二百米 タルフ（ミルウオーキー大學）パツソン（南カルフオルニア大學）
□四百米 グリーン（アビレン、クリスチヤン大學）
□八百米 ホーンボステル（インデイアナ大學）
□千五百米 カニンガム（カンサス大學）
□五千米 クローリー（ニユーヨーク大學）
□障碍 フイルフツド（ボールドウイン大學）
□走巾跳 クラーク（カルフオルニア大學）
□三段跳 キンス（西南ルイジアナ大學）
□棒高跳 グレーバー（ロスアンゼルス大學）
□投擲 ジヨンズ（サンフランシスコオリムピツク、クラブ）ダン（メイン大學）
□走高跳 マーチー（サンフランシスコ、オリムピツク、クラブ）

脅迫されて 露人娘春を賣る！
歸宅した處を御用

日本橋通二十五番地露人飮食店、インペリアルの女給が春を賣つてゐるとの噂があるので新京署で內査中二日午前六時ごろ同家女給マリヤ（二一）シウラ（三二）の兩名が自動車で城內方面から歸宅したところを發見取調べると、同日午前二時ごろかねてからの馴染客である滿洲國政府勤務と稱する渡邊、横山の兩名が訪れ主人を脅迫し前記女給を連出し城內の某滿人旅館に投宿し現金五圓で春を賣つたことを自白した

伊通河增水 水源地一時危險

連日來の降雨で伊通河の增水甚だしく、二日夕刻に至つて共同墓地近くの第三水源地（工業用）附近に浸水滔々と流れ込み、モーターに浸水のおそれが生じたので、この急を聞きつけた新京地方事務所水道係では直ちに同土木係に急報して、これが應急處置として午後五時から翌三日午前二時までモーターの吊上作業を行ひ漸く事なきを得た、三日朝は前日に較べ約五センチ減水した

あす早大軍 對滿洲國野球戰

東都六大學中の強豪早大野球軍對滿洲國チームとの對戰は四日午後四時から西公園グラウンドで華々しく開戰することになつた

第二師團の殊勳者 白幡、星野兩伍長

第二師團の將兵多門中將以下の行賞發表に際し特に殊勳者として發表されたものは多門中將他左記兩氏である

本籍 宮城縣柴田郡槻木町大字入間野字白幡四十七番地 野砲兵第二聯隊第四中隊 陸軍砲兵伍長 白幡衛

一、敎化の戰鬪（七、六、一五）
步兵二名、砲兵三名を以て同地北方要點たる砲臺山を守備し約四百の敵と交戰、砲兵二名、步兵一名戰死し躬重傷を負ふも之を屈せず指揮者なき初年兵の身を以て眞に火砲と運命を共にし單身操砲、奮戰時餘敵兵突入するや騎銃を以て格鬪し更に受傷人事不省となる本戰鬪間砲臺山に優勢なる敵を牽制し以て主力の戰鬪を有利ならしめ、岡田砲伍長、堀籠同上等兵、吉田步上等兵と共に多門師團長より賞詞を受けた

二、敎化の戰鬪（七、九、一一）
第一次戰に於て奇蹟的に一命を保持したる白幡氏は再び步、砲兵八名を以て同砲臺山の守備に任じ、九月二日午前四時より約二時間に亘り約四百の敵の包圍攻擊を受け分隊長以下相次で斃れ其の半數傷つき悲慘の狀況下躬亦胸部に重傷せしも他砲手と協力死守以て旅團の戰鬪を有利ならしめた

本籍 新潟縣中蒲原郡小林村大字鍋潟千百五十一番地 步兵第十六聯隊第五中隊 陸軍步兵伍長 星野敏雄

一、江橋附近の戰鬪（六、二自四至六）
四日中隊の嫩江支隊主力に先行高營子北側高地の敵堅陣攻擊に方り重機小隊に重要命令傳達に任じ迅速に之を完し之が爲め中隊は敵の側射を避け攻擊を容易にし高地攻略の動機となる次で夜襲の際中隊長に隨ひ率先敵中に突入格鬪、中隊長に薄る敵兵を殪し其の危急を救つた、五日の戰鬪に死傷續出攻擊意の如く進展せざるの時進んで傳令の任を完した

二、拉哈附近の戰鬪（七、七一二）
同夕刻より約九千の敵に包圍攻擊を受くるや星野氏は水野小隊第一分隊長として僅々六名の部下を以て獨力要點を確保し敵を至近に誘致して一擧に猛射大損害を與へ敵の進入企圖を十數回に亘り挫折し惡戰十時間增援隊來着迄その守地を確保した、中隊は本庄軍司令官より感狀を授與せられその際中第一人者である

仙人掌

糸田大尉逝いて毎夜枕濡す女性、のぶ子さんのあきらめられぬ戀物語りが知れ亘るや、そこここに鞘當てとまではゆかぬがいとし空の勇士の將來に憧れを持つてゐた彼女達が十幾人▲いづれも本紙の記事を切りぬいてカフエーミカサののぶ子さんへ當てつけがましく送つて來たり電話でキーキー聲でがなり立てたりそれは女の世界は恐しいほど▲ところが一日夜ベロ〻〻に醉つ拂つた一女性がカフエーミカサを訪れた『のぶ子さん居ませんか』『のぶ子つてのはわたしよ』『あゝそう、あなたがのぶ子さま、あら失禮しちやうわ』▲初めからいやに切口上である『あなたが糸田さんと將來を約束してゐたなんて新聞になんか發表してじようだんじやありませんよあの方にはあなたのやうな女給さんでなく、內地からずつとついてるレツキとした女があるんですよ、春、夏、多それぞれの身に纏ふものまで世話してた人があるのよそれに心の誓ひの刺靑までしてゐるのよそれを、それを』とう〻〻この女性の双頰から白いものが流れ初めた『今ごろになつて何をおつしやつてゐらつしやるの、わたしと糸田さんの間は上官の方も認めてゐらしつたじやありませんか』『まだいけ圖々しい、これを御覽』▲と出したのは彼女の白臘のやうな右二の腕、そこには『イ』としるされてある、勝ち誇つた彼女は足音荒くミカサから消えた▲彼女とは誰あらう、今新京花街に嬌名を唄はれてゐる料亭千鳥內光丸姐さんである

新版江戸八景（上演）行友李風氏原作

江戸役者と御殿女中　九一　行友李風

「はい――」

牢六天窓の冷たいあしらひに、人生に望みを失つた大吉。――このあたゝかい團十郎の言葉に、思はずも、涙にむせんで。

「ありがたうございます。親方さん。――身から出た錆、とあきらめて、死なうとしたわたしではございますが、では、お言葉にあまへて、……一通り、おきゝなすつて下さいまし――」

途中、幾度か、涙に、聲を、とぎらせつゝ、語り出したは、長持の一件から、今日の次第まで。――

『ふうむ――』

いちいちにうなづきながらきいてゐた團十郎。

『いや、それで、よくわかりました。――こんどの尾張さまの一件については、わたしも、うすうすきいてはをりました。……それはお前さんのしたこともわるいが、また、さういふことをさせた牢六の仕打ちも、重々薄情。……いまきいて、私も、愛想がつきました。……が、いま、こゝで、事を荒だてるのも如何。……お上におかれてさへ、尾張さまの御家名を察して、内分にすまして下すつたのだから、いま、牢六を追出すと云ふ譯にもゆかないが、ゆくゆくは、それ相當の事はするつもり。……お前さんにしてみれば、さぞ憎くもあらう。口惜しいとも思はれようが、牢六にかゝることはこの團十郎にまかしてをいておくんなさい――』

『………』

『また、お前さんの身の上だが……まだ、これから老先の長いお體ではないか。歌舞伎の舞臺を身かまひになつたからとて、人間仕渡りの道は、まだ、ほかにいくらもある。――わつしも、心にかけてをきますから、……まづ、その前に、ゆるゆる俺の養生をしなさるがいゝ。たとへにもいふ、――決して、はやまつた考へを起こしてはなりませんよ――』

『はい、――大それた罪を犯したわたくしめの身にあまるお言葉――お禮の言葉もありませぬ……』

といひさして、あとは涙。

『いや、――禮のなんのと。……そのやうなことは一切いはないことにしよう。――それよりは、今夜は、腹をあたゝめて、ゆつくりやすみなさい。――明日は、知り合ひの醫師にみてもらふことにして……』

と、こゝで、あたゝかい膳で、大吉の腹をこしらへさせ、奥の一室にやすませましたが、翌日、かねて懇意な根津七軒町の町醫者、盤田[illegible]といふものを招いて、ひそかに、大吉の身體を預け、この醫師の一室で、養生させることになりました。

――あゝ、ありがたい和泉町の親方さん。

大吉は、毎日々々、心の中で、和泉町の方に手をあはせ、養生につとめてをりましたが、半月ほどするうちに、さすがの牢瘡も全快――昔に變らぬ美男。

或夜、ひそかに、たづねてまゐりました和泉町の團十郎宅。

『おゝ、大吉さんか。――よく來なすつた。――近頃は、もう大分よくなつたときいて、一度、見舞ひにゆかうと思つてゐましたが御存知の通りの忙がしい身に。それもなりかねてゐました――』

と、よろこび迎へる團十郎の前に手をついた大吉。

七月四日　水曜　丙子　先負　破　宿

●一白の人　お先走りは失策の基となり味方の反感甚し　乙と丙と甲が吉
●二黒の人　氣分落付かず兎角人の甘言に乘り易し注意　辛と癸と寅が吉
●三碧の人　泥沼に足を踏込みたる如し進退自由を失ふ　乙と丙と寅が吉
●四緑の人　古疵の痛み出すが如し應急の處置施すべし　乙と丙と丁が吉
●五黄の人　運氣至極良好にて無理さへ行はざれば吉し　巳と辛と壬が吉
●六白の人　分外の大望を起して失敗せんとす定業が吉　丙と丁と辛が吉
●七赤の人　出ること少なくして入ることの多き大吉日　巳と丙と壬が吉
●八白の人　喜ひ事の生ぜんとする日建築起業旅行も吉　巳と壬と寅が吉
●九紫の人　人を頼り過ぎて嫌はるゝ傾向あり病厄注意　甲と庚と壬が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可 昭和九年七月四日 新京日日新聞 (水曜日)

新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
定價 一ヶ月一圓 一部五錢
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

園公けふ上京の上 御下問に奉答せん

後繼内閣組織の大命は結局 齋藤子に再降下か

【東京國通】天皇陛下には首相より内閣總辭職の事由を御聽取あらせられ、閣僚の辭表を御受領遊ばされたが、首相の御前退下後牧野内府を召され、内閣總辭職に依る後繼内閣に就いて種々御下問あらせられたので内府は謹みて後繼内閣に就いては元老たる西園寺公に御下問あつて然るべき旨を奉答し、更に種々御下問に奉答した、依つて　陛下には御殿場に在る西園寺公に對し御下問遊ばされるために急遽御召しに相成つたものである

【東京國通】西園寺公は四日午前九時四十分東京驛着上京、重臣を駿河臺の自邸に招致し、協議の上後繼内閣首班を推薦し、同日午后五時廿五分東京驛發、同七時十八分御殿場驛着、退京する豫定で、此の點より見て大命再降下説有力と觀られて居る

けふ上東の
西園寺公

高橋財政は踏襲される？

總辭職株式市場に影響薄

【東京國通】財界では久しきに亘つて政變説喧傳され政局不安の情勢を招來した爲め、株式及び商品市場の如き種々の波瀾を經過してゐたので、齋藤内閣今回の總辭職の報に驚駭しなかつた事は株式市場か取引株式以外何れも强調を示せるに於て明かである、之に後繼内閣が如何なるものにせよ現下の内外情勢に鑑み高橋財政々策に變改を加ふることが不可能と信ぜられてゐる爲めである、今財界有力者の意見を綜合すれば我國の財政狀態好調なるは實に高橋藏相の經濟政策が時宜に適した結果に他ならぬ、從つて如何なる人物が藏相に就任しても現在の高橋財政々策を踏襲する事が必要であると一樣に言つてゐる

總辭職の因

某閣僚近く召喚されん

【東京國通】總辭職の眞因をなした某閣僚は手續其他が豫定通り進行すれば兩三日中に召喚される模樣である

日銀方面の希望

【東京國通】日銀方面の意見としては金利高下、今日尙ほ採算のとれぬ事業の如きは事業自体に缺陷ありとし此上のインフレ及び低金利政策反對を表明、後繼内閣に高橋政策の踏襲を希望してゐるが土方日銀總裁は語る

財界の現狀は安定に近く通貨政策も成功に近い故現政策を急變革さす政策はして貰ひ度くない、これは財界人一般の意見と思ふ、要するに財界基調に變動を來さぬ政策を望む

各閣僚の辭職理由書

【東京國通】齋藤首相、高橋藏相の辭職理由は大意左の如く辭表に明記されてゐる

齋藤首相　今回某事件を惹起し世間を騷がし御宸襟を惱まし奉つた事は誠に恐懼の至りに堪へず、よつて辭表を闕下に捧呈す

高橋藏相　自分の直接監督下にある官吏中より今回の如き大事件を惹起したるは監督の不行届き不德の致す所であつて誠に恐懼に堪へぬよつて辭表を闕下に捧呈す

尙他の閣僚は齋藤首相が辭表を提出する故辭職すると云ふ理由である

新内閣組織に 滿鐵正副總裁更迭なしか

【大連國通】七月一日を以て任期滿了となつた滿鐵伍堂理事並に來る十一日を以て滿了となる十河理事、十七日滿了の村上理事の後任補充は、齋藤内閣の總辭職に依り正副總裁退京までに決定出來ぬ事情に立至つた模樣であるが、新内閣が何人に依り組織さるとも目下のところでは正副總裁の更迭の氣配は見へないので正副總裁とも退京を少し延期して新内閣の樹立等關係方面との顔つなぎを行ひ、三理事補充問題等を大体纏めて歸任するものと觀られてゐる

後繼内閣と軍部側の意向

【東京國通】後繼内閣に對して軍部では次の如き態度を執つてゐる

一、後繼内閣首班者にはこの非常時局を擔當して斷乎たる信念を以て政策を實行して行ける人材が推擧されることを熱望する

二、齋藤首相に對する大命再降下説が有力と觀られるが軍部としては其の大命再降下が元老重臣等に於ける大命を私議するが如き不純なる策動の結果である場合は飽くまで反對的態度に出る、併し他に最適任なるものが見當らず、齋藤子に大命の再降下を奏請するに至るが如き場合は、其組閣は齋藤内閣の延命したものとせず、全然別個の齋藤内閣として組閣すべきであるかゝる場合高橋藏相の辭任は今回の事件の責任上仕方ないが他の閣僚に於ても種々世評のある閣僚は之を機會に辭任せしめ、留任する閣僚の椅子にも入替へを行ひ、大改造を加へて人心を安定、政策を遂行せしむべきである

との意向を傳へてゐる

今吉新拓務出張所長赴任

【東京國通】新任拓務省新京出張所々長今吉敏男氏は三日午後一時東京驛發富士號で赴任の途に就いた

文官俸給支給細則

四日附公布

滿洲國政府では曩に滿洲國文官官吏官等俸給令を公布したがこれに伴ひ四日附政府公報を以て左の文官俸給細則を公布することゝなつた

文官俸給支給細則

第一條　簡等文官及委任文官の俸給は各官署左の日割定日に於て之を支給す但し休日に當るときは其の前日に繰上ぐ

毎月二十三日　總務廳及其の所管經費に屬する官署　興安總署及其の所管經費に屬する官署　民政部及其の所管經費に屬する官署

毎月二十四日　外交部及其の所管經費に屬する官署　軍政部及其の所管經費に屬する官署

毎月二十五日　實業部及其の所管經費に屬する官署　交通部及其の所管經費に屬する官署　文教部及其の所管經費に屬する官署

國務總理大臣特に必要ありと認むるときは前項の定日以前に於ても支給することを得

第二條　轉任者の俸給は其の發令の前日迄を前任官署に於て支給し發令の當日以後は新任官署に於て支給す

第三條　他官署へ轉任したるもの、俸給は第一條の支給日に拘らず日割計算を以て其の際支給す

俸給支給定日以後に他官署へ轉任したるときは前任官署に於て其の際過渡分を追徵す前項の場合後任官署に於ては其の月の殘日數に對する俸給を當任の際支給す

第四條　廢官、退官、退職又は死亡のときは當月分の俸給全額を其の際支給す、病氣の爲め執務せざること九十日を超え又は私事の故障に依り執務せざること三十日を超えたる爲め高等官官等俸給令又は委任官官等俸給令に依り減給せられたる者、廢官、退官、退職又は死亡したるときは其の減給に係る當月分の全額を其の際支給す

第五條　休職、廢官、退官、退職の際特に事務引繼殘務整理を命ぜられたる者其の引繼又は整理翌日以降に渉るときは最後の月は日割を以て整理結了の日迄を其の際支給す

第六條　俸給支給に當り計算上分位未滿の端數を生ずるときは之を切捨てる、日割計算の法は其の月の現日數に依る

附則

本細則は康德元年七月一日より之を施行す、暫行文官俸給支給細則は之を廢止す

第二次水路會議

先づ滿洲國側の主張通る

四日双方の提案持寄り商議

二日行はれた第二次水路會議は午後三時開會、滿ソ兩國の主張する提案を議題に上せ愈々本格的會商に入つたが、席上ソ聯は豫期せる如く一九二三年舊政權との間に結ばれた協定を基礎として會商を進め度いと提案したが、之に對し滿洲國側は、斯る不平等な一方的過去の協定を基礎とする提案に共同利害の立場より飽く迄對等の立場を主張し議場の空氣は相當の緊張を見せたが結局ソ聯側は滿洲國側の正當なる要求を承認し一九二三年の協定を基礎とする提案を撤回し散會した、よつて四日午前九時行はれる第三次會商に於ては兩國とも新たなる提案を持寄り會商を進める筈である

爆破犯人逮捕に 賞金一萬元

【天津三日發國通】北寧鐵路局長殷同氏は二日午後二時、許文國、鄭寶照兩副局長を招集して、爆彈事件の善後處置を討議し、死者遺族に對し弔慰金を贈ることに決した、一方犯人を逮捕せるものには北寧鐵路局より一萬元の懸賞金を支拂ふ旨一般に通告した模樣である

ソ聯チチハル領事 滿洲國側要人招待

―滿洲國承認を仄めかす―

【チチハル國通】滿ソ兩國間の空氣惡化を傳へられて居る折から當地ソ聯領事クヅネツオフ氏は一日滿洲國各要人を領事官邸に招待し、種々ソ滿關係に就き意見を交換したが當夜席上に於てクヅネツオフ領事の挨拶を仄聞するに大要左の如くである

日ソ開戰に於てデマの亂れ飛ぶ折柄本夕貴官等と會食するは實に慶賀に堪えない滿洲國内の治安は全く確立し、新興國家としての文化の施設は着々として進行しつゝあるは慶賀に堪えない次第である、ソ聯政府としても早晩滿洲國を承認するに至るであらう、本日は滿ソ兩國の親善を期する意味で懇談の會議の機會を作つた次第である

滿洲國辭令

利民艦長　海軍少校　威天禧
補大同艦長

大同艦長　海軍上尉　張森
補利民艦長

任郵政管理局事務官、薦任六等　仲西實雄
奉天郵政管理局勤務を命ず

任交通部事務官（薦任七等）　林敷馬
交通部郵務司勤務を命ず

任郵政管理局事務官（薦任七等）　高島芳夫
奉天郵政管理局勤務を命ず

任交通部技正（薦任八等）　中原民藏
交通部郵務司勤務を命ず

任郵政管理局技正（薦任八等）　永田金吾
奉天郵政管理局勤務を命ず

任郵政管理局事務官（薦任八等）　上田正年
哈爾濱郵政管理局勤務を命ず

郵政管理局事務官　林郁雄
兼任交通部事務官（薦任八等）
交通部郵務司勤務を命ず（各通）

任郵政管理局事務官、薦任八等　楡皮顯治
哈爾濱郵政管理局勤務を命ず

任郵政管理局技正（薦任八等）　中根綱之助
哈爾濱郵政管理局勤務を命ず

任郵政管理局屬官（委任二等）　篤行雄
奉天郵政管理局勤務を命ず

新勅選議員

【東京國通至急報】

法相　小山松吉
元駐獨大使　小幡酉吉
元資源局長　宇佐美勝夫
法學博士　松井茂
海軍中將　佐藤鐵太郎
法制局長官　黒崎定三
朝鮮殖産銀行頭取　有賀光豐
日銀總裁　土方久徵
法學博士　仁井田益太郎
大阪市長　關一
元東拓總裁　宮尾舜治
章化銀行取締役　辜顯榮

宇佐美勅選 略歷

勅選議員に決定した滿洲國最高顧問宇佐美勝夫氏は山形縣の出身東大法科政治科を卒業後内務屬を振り出しに德島、京都各參事官、内務書記官、同省參事官、富山縣知事、韓國内務次官、統監府參與官、朝鮮總督府内務部長、同土木局長に歷任し、大正十年東京府知事となり同十四年賞勳局總裁に任じ昭和二年資源局長に轉じた、滿洲國の建國なるや昭和八年一月招かれて日系官吏の最高官滿洲國政府國務顧問に就任、今日に至つたもので、その間特に親任官待遇を賜はつてゐた、又大正十五年白耳義皇帝陛下より贈與されたグラン、クロア、レオポール第二世勳章を受領し佩用することを允許されてゐた、政界では從來しばしば有力なる大臣候補として俎上に乘せられてゐながら一度も今閣に列せず、比較的不遇であつたが今回勅選議員決定は寧ろ遲きに失する憾がある

積極インフレ 政策には反對 財界方面の意向

【東京國通】財界では二年間支持して來た漸進的インフレ政策續行の外なからんとて樂觀して居るが、金融界が落着いて居る圓價暴落の危險へ曝す樣な積極的インフレをなして金利引下げ公債の低利借替へを强行せんとの論を持ち勝田主計の如き人物を藏相たらしむるには絶對反對である

民政の 對政局方針

【東京國通】民政首腦部は大命再降下説には依然反對で、宇垣總督、清浦伯内閣の希望は變らぬが、目下の所形勢混沌としてゐるために、後繼者の顔觸れを見定めた上善處する意向である

論廓の聲

◀中傷はとらず▶ 住所氏名明記の事

殘されたる軍人遺族の人々

鴨水生

社會の人々は、事變中には軍人を神様の樣に取扱ひて、事變後にはけろりと忘れて唯々自己萬能に過しつゝある、社會の人々は過ぎし幾多の戰爭事變に於て護國の鬼と化したる名譽の戰死者の殘されし遺族を忘れてゐる……其の遺族達は杖とも柱とも頼む人は御國の爲に死し、殘され遺族達の慘めなる姿を見よ……それは國家より扶助されるとは言ひ乍らそればかりで遺族達は打ち寄せる社會の荒波に打勝つて行つてゐるだらうか……殘された遺族達は月變り年過ぎて唯々社會の荒波にもまれ乍ら今日迄喘ぎ々々過してゐるではないか……其の中には幾多の悲しき聲を聞く社會の人々よ……唯々自己萬能に捉はれ享樂にふけり、一身一家の榮達ばかり計りて今日其の殘された遺族達を御身達は何と觀る……それは御國の爲に戰死したのは軍人の本分とは言ひ乍らその幾多の戰死者の忠魂は安らかに眠れるかどうか!……唯一ぺんの弔辭を以て事終れりと考へてゐるならばそれは遺族達にとつてなげかはしき事である、も少し社會人は目を見張つて、孤獨なる哀れなる生活をなしつゝある遺族達を顧られて、適當なる慰問の方法を講じ、以て忠魂安らかに眠る戰死者に對し銃後の奉仕をしなければならない……吾人は過ぎし幾多の戰爭事變に於て名譽の戰死者のその殘されたる遺族達に對して、健在であれと祈るのである

日下内務局長 歸任

滯京中の日下關東廳内務局長は三日午後四時半發列車で歸任した

中銀紙幣回收率は 九割三分一厘

六月卅日期限發表

中央銀行の舊紙幣回收狀況は極めて好成績で、回收期限たる六月卅日迄に回收總額は一億三千二百卅五萬余圓に達し右を開業當時の引繼總額に比すれば九割三分一厘で、殘額は九百八十萬余圓に過ぎない、尙舊紙幣は六月卅日を以て通貨としての價値を喪失した譯であるが、更に今後一年間の交換期間を設け舊紙幣の交換を行ふ筈である

故大垣氏の葬儀につき 議員協議

新京商工會議所では三日午後三時半から議員會を開き故大垣理事の葬儀並に弔慰金支出の件について協議した

偶語

大体世間では雲の動くのを見てわいわい騒いでゐるので、富士山はちつとも動いてゐないぜ、といつたのは高橋藏相▼その富士山がいよいよ動き出したのだから大變だ、お蔭で連日來の鬱陶しい黒雲はすつかり消えたには消えたが、今度は行く手が五里霧中とあるから困りものだ▼聯合艦隊の全艦長以上連署して「公明强力内閣切望!」の重大上申書が出されたといふので、センセーションを捲き起してゐる、尤も海軍當局はこの事實を否定してゐるが、吾等はその内容には双手をあげて賛成する▼海軍問題といはず、また對滿政策問題といはず、現下の日本には余りに大きな國家的重要問題が到るところに雲積してゐる、非常時解消はおろかこれからがいよいよ眞の非常時なのだ▼今まではたとひスローモーションでもどうにかあとを濁せたかも知れないがこれからはそんな手ぬるいことをゆるさない、全國民一致眞の非常時突破に邁進せなければならぬ▼この意味においては後繼内閣は必ずしも世の所謂憲政常道を踏む必要もなければ、敢て政黨聯台でなくともよいはずだ▼忠靈塔寄附金の本社扱ひ、遂に一萬圓に垂んとす、理解ある全新京市民が、競つてこれを本社に寄託したのが、積り積つて今日に至つたのである▼吾々はその額必ずしも多しとは思はないが、かく多數市民が進んでの美しき熱情に對して心から敬意を表し又感激させられるのである

天氣と氣温

天氣　南西の風晴一時曇
氣温　最高三十三・〇　最低十七・〇
日出　前四時一分
日入　後七時二十五分
月出　後十一時十四分
月入　前零時二十二分

狂奔する水銀柱に人氣者の熊公行水
晝下りの西公園ヤッパリ暑い
灼熱に喘ぐこの頃

ドス黒いアスファルトが氣味悪い程流れ出て、大地から發散する臭氣は鼻をえぐるやうだ、水銀柱はいままさに九十度に向つて

＝驀進＝してゐる、焼きを捨てゝ涼を探つて西公園に足を運ぶ、入口の花園には弱り切つた百日草が暑苦しい程に密生して炎天に喘いでゐる夫婦もの〻狼は投げ込まれた赤い切肉をよそにして屋舎の下に長く寝そべつて晝寝の眞最中、ジャズも絶へ果てヒッソリした賣店の庭先に並べたテーブルには太い光線が眞直下に差込み見るからに斗汗がしみ出る、ノンキもの熊公は無造作に生やした瓜と毛を水溜の中に入れて行水をやつこ人氣を獨占してゐる、水渇れのひさご池も連日の豪雨で濁水を滿腹した水面に數條の波紋を描き出しサッと吹き捲く一陣の

＝涼風＝でざわめく菖蒲の葉蔭で眠る蝗が驚いて水中に飛び込む、どこまでも大人しい禽鳥の金網は相變らず靜肅だ、岩屋の丸穴に鳴く鳩ポッポの聲に眠氣を覺えさす、同じ公園でも眞晝の公園ぢや活氣がない、待機中のボートは田舎の濱邊にあげた魚舟の様に船首を揃へてつながれてゐる、おひるの散策連は大半滿人で殺風景なものだそれでも新京に始めてお目見得のベビーゴルフは朝から相當人が入つて賑はつてゐる涼を探りに來ても矢張り公園には公園のなまぬるい風が吹いて大した

＝納涼＝もない、西公園さい千鳥町の道路は舗裝工事で暑さが一入增した

全滿各種リレー 新京の成績

去る一日撫順で行はれた全滿リレーカネバノルに出場新京選手の成績は左の通り

一、ハイハードル二着（十五秒九） 中村秀雄選手
同五着 [illegible]原選手
二、百米 三着 中村秀雄選手
三、棒高跳四着（三米一〇） 伊藤 選手

現在の滿洲國
眞に隔世の感がある
來京中のクラーク、プライス兩氏談

この程來京した米國アトランタ、コンスチテューション紙副主筆クラーク並にホスキンス大學教授プライス兩氏を迎へ在京外交記者團は三日午後三時からヤマトホテル會議室で外交部川崎宣化司長、大使館筒井情報課長同席のもとに會見を行つた、席上クラーク氏は

五年前私が來滿した當時は政治が鐵道沿線だけに行はれ、鐵道から遠隔の地は變化も發達も豫想されない狀態にあつたと觀察したが現在では滿洲國の結成によつて善政が全滿に亘つてゐる このことは國際的に非常な重要性を有し滿洲國民衆が善政下におかれるといふことは支那をも救ふものである

と滿洲國の急速な發展を述べ合衆國領事として在支十六年東洋研究家として名あるプライス教授は

自分は第一回の來滿であるから現在の滿洲をゆつくり見て歸りたいと思つてゐる支那について私の長い研究の結果は支那は悪くてもい〻から自分で政治を行ひたいと思つてゐるこの事は今後滿洲を如何に統治してゆくかといふ問題を提供してゐるのでないかと考へられる支那は自治政治を行ひ得る國民だと信じてゐる支那における軍閥政治は結局失敗するであらう

と支那通の一端を仄かし、そのほかルーズベルトの銀政策などについて語り四時半散會したなほクラーク夫妻は四日午前十時皇帝に謁見を賜り、歸國の途につくはづであるがプライス教授は當分滯在して滿洲各地を觀察することとなつてゐる

山本忠興氏の講演盛況

滿洲電氣協會主催の工學博士山本忠興氏「電氣界の現在と將來」と題した講演は三日午後三時からヤマトホテル西側待合室で開かれた、聽衆五十餘名に達し午後四時三十分閉會した

クラーク氏 夫妻動靜

二日朝來京した米國アトランタ、コンスチチウション紙副主筆クラーク氏夫妻、並にジョンス、ホプキンス大學教授プライス博士の一行は二日午前謝外交部大臣と會見の後、國都建設狀況を視察、午後は菱刈軍司令官を訪問した、夜は外交部主催のすき燒會に臨んだが、滿洲國側要人の夫人連も出席、日滿米團欒の家族的な和やかな情景が繰りひろげられた

三日は、午後八時三十分鄭總理大臣と會見、次いで張實業部大臣との會見を終つた、午後は三時よりヤマト、ホテルに於る新京記者團の座談會に臨み、クラーク氏は米國のNR、Aの齎した經濟的好轉、特に農業方面について說明、滿洲に對しては五年前來た時と大なる相違で、米國に居て考へた滿洲國に對する認識を深め得たことを語つた、プライス博士はその在支十六年の經驗より出た滿洲國將來の政治に對する意見を述べ、その他米國に於ける銀復位法問題米ソ問題等が明快に語られた夜は吉澤總領事以下大使館員主催の晩餐會に臨んだ

尚兩氏は四日午前十時皇帝拜謁の豫定であるが、クラーク夫妻はその直後十一時半飛行機にて大連へ出發、五日大連發飛行機の旅を續けて日本に向ひ、十二日横濱出帆の「淺間丸」で歸國する、一方プライス氏は尚數ヶ月滿洲に滯在各方面の調査を行ふ豫定である

けふの催し

防空講演映畫 四日午前十時（日人學生及教職員）商業講堂、午後二時（官民入場券發行）同場、午後八時（日滿一般民衆）西公園記念碑附近

木村毅氏講演 並に映畫の會は四日午後四時から新京高女講堂

早大對滿洲國 野球試合は四日午後四時から西公園球場

本年の簡閲點呼者 千五百余名
廿七日から商業學校で始まる

新京署並に新京總領事館署管內で本年度簡閲點呼令狀を通達されたものは一千五百餘名で、これ等の者は來る二十七日から八月四日まで（內三日休み）新京商業學校で點呼を受けることになつた

滿洲國教育關係者 買收を計畫
國府教育部が部員を派遣

當地情報に依れば南京政府教育部においては滿洲人をして中國民たるの思想を喪失せしむることなく益々祖國愛の精神を保持涵養せしむるため今回滿洲國中等學校以上に服務する有力なる教員及び學生の買收を計畫し教育科長審會、科員與新民、超醒華の三名を十七日上海より大連經由入滿すべく命じた、尙ほ滿洲國より派遣の日本留學生にして中國に學費の給與を求むるものあらば滿洲國の國籍離脫を條件に充分の給與を爲すべく駐日公使館宛通達した

大連のペロケで 英船員亂暴

【大連國通】二日午前一時頃市內電氣遊園下ペロケダンスホールに入場した外人八名がホール閉場後三階ダンサー居室に闖入せんとし、之を制止した從業員と衝突殴る蹴るの大亂鬪となり双方負傷者を出したが警官の出動により鎭壓した、右外人は目下大連入港中の英國汽船ベネモーラ號三等運轉士スペンク（三〇）同ジョンズ（二五）無電技師キーガン（二九）一等運轉士スピット（三二）と云ひ他の四名は逃走した、大連署では目下双方取調べ中である

新京公學校の 夏季休業中の行事

健かに育つてゆく新帝國の將來を双肩にになふ若き時代の滿洲兒、思ひ切り彼等に手足を伸ばさせたい夏、さて新京公學校の夏休みは……

夏季休業中行事

一 休暇期間 自七月十六日至八月十四日
二 日本語教授法講習會（奉天）出席者宮永、松下、横川、山本各訓導
三 全校兒童招集 八月一日
　當日學行事項
　イ 朝會 午前七時
　ロ ラヂオ体操
　ハ 先生のお話
　ニ 各學級にての行事
　　一 出席（兒童健康狀況調査）
　　二 夏期練習帳檢査
　　三 校庭掃除草取り
　　四 學校園の手入
四 日語指導（學校）
　十六日より 植松 訓導
　二十一日まで 西本 同
　二十三日より 宮永 同
　二十八日まで 横川 同
　三十日より 山本 同
　四日まで 松下 同
　六日より 植松 同
　十一日まで 松下 同
五 圖畫指導
　イ 期間 二十三日より二十八日まで
　ロ 指導者 横川訓導
　ハ 兒童 初三、四 高一、二
　ニ 時間 毎日午前六時より八時まで
　ホ 種目 主として寫生（屋外）
六 体育指導案
　イ 期間 十六日より二十八まで
　ロ 指導者 西本 訓導
　ハ 兒童 高一、二男女
　ニ 時間 午後三時より五時まで
　ホ 種目 排球ドッヂボール競技
七 學級別現地聚落（學校）
　一 早起會（齒磨冷水磨擦實習）午前五時校庭集合
　二 神社參拜
　三 校庭淸掃
　四 花園手入
　五 練習帖一齊自習と質問指導
　六 オ話會
　七 体操競技
　八 午睡午前十一時
　九 公園散步
　一〇 寫生會
　一一 學級遠足見學
　一二 動植物採集
　一三 學科講習

もこれで三回目である

立教大學野球部 來連

【大連國通】立教大學野球部選手一行二十一名は久保田主事に引率され三日『うすりい丸』で來連した、一行は大連奉天、新京、撫順、安東各地で試合の上朝鮮經由歸朝の豫定である

一等操縱士を目指し 女子飛行士クラブ發會式擧行

【東京國通】女流飛行家は豫てから一等操縱士の資格獲得を目指し精進してゐたが第一步として日本女子飛行士倶樂部を組織すべく、一日午後四時飛行會館に發會式を擧げた出席會員正田まり子、上仲鈴子、長山雅子、梅田芳枝、馬淵てふ子、松本きく子（以上二等操縱士）諏訪みつゑ（練習生）の七名で此の他木下清子村上しげ、吉田よし子も入會を申込み現在日本の女流飛行家數十四名の過半數である

五ケ年計畫は 重工業の偏重
ソ聯邦農民の憤激

【チチハル國通】三日某所着情報によれば武力戰備を目的とするソ聯五ケ年計畫は當然の結果として重工業を偏重するあまり輕工業は等閑となり國內物資の不足をみるに至つた、これに關聯して工業勞働者の優遇は共產黨員並びにゲペ、ウの待遇と同樣に取扱はれてゐるため國民の大半を占めてゐる農民勞働者は極度に憤慨し政府に對立尖銳化せんとする形勢を示してゐると

恐る可き 赤系のテロ工作

【ハイラル國通】探聞せる諸情報を綜合するに恐るべき赤系分子のテロ工作全貌は

一、嫩江の洪水期を利用し嫩江鐵橋を爆破する
一、ダライノール（滿洲里の次の驛）炭坑に於ける諸工作
一、暗殺隊の大擧入滿
一、ザバイカル鐵道從業員、戰鬪義務隊、北鐵青年共產黨及び沿線在國赤衞軍人の積極的活動

等である

空砲數發 赤軍の演習か

【滿洲里國通】赤系分子のテロ工作斷行との流言に脅やかされたその夜のマンチュリーでは夜半零時頃突如國境線の暗空に韻を引いて空砲數發轟いたが、マンチュリーの街は寂として靜まり、遂に何事もなく夜は明けた、多分國境線附近に於ける赤軍の夜間演習だとの噂である

デマ亂れ飛び 怖へる滿洲里
赤系劃策の報頻々

【滿洲里國通】昨今牙城北鐵に籠る赤系露人間に「數日を出ずして何事か起る」との流言頻りに飛び、沿線露滿人の戰慄をそゝりつゝある折柄、去月末ブヘト、ハイラル、マンチュリーの各驛長並に在ハルビン、ザバイカル鐵道代表が續々とマンチュリーに集合し工務團長をも加へて北鐵破壞日ソ開戰誘發の陰謀を劃したとの情報が齎らされ、相次いで北鐵の石炭庫たるタルメライノール（マンチュリーの次の驛）の炭坑工夫が俄かに怠業狀態に陥り、一日午后野遊會に名を藉りアルグン河畔に大擧集合したとも傳へられ之等諸情報は流言に惑ふ人心に拍車をかけて一日夜のマンチュリーは戒嚴の緊張が漲つてゐる

黑木軍に從軍の フレーザー氏 各方面歷訪

二日夜來京したロンドンタイムス紙記者上海駐在員フレーザー氏は三日阪谷次長、外交部、軍司令部、大使館を訪問したが同夜發ハルビンへ向ふ筈である、同氏はかつての日露戰役に我が黑木軍に從軍した猛者で滿洲を訪問する事百回以上、事變後の訪問のみで

商工會議所理事の椅子を巡り 早や暗中飛躍
名實共に誇り得る人物を要望
葬儀後表面化さん

新京商工會議所理事の空席をめぐつて早くも後任の暗中飛躍が行はれ既に候補者も數名あげられてゐるやうである、きくところによると新京は國都であり將來滿洲の各地會議所を指導してゆくべき重要性をもつてゐるので一部の議員にはこの際少々無理をしても名實ともに他に誇りうる名理事を掘へてはといふ意見があり、一方又現在の狀態をもつてしては右の意見は實現困難であるとみてゐる議員もあるやうで、何れにしても故大垣氏の葬儀がすめばこの問題も表面化してくるであらうが然し實現までには相當の宇餘曲折はまぬがれないであらう

米國映畫スター 日本の舞臺から御挨拶

【横濱國通】廿九日午後八時ホノルル、から横濱へ入港したプレシデント、オブ、クーリッチ號でアメリカ映畫關係者のアービング、ウエインベルグ、と云つても解らないが銀幕の女王ベティー、カンプソン嬢の夫が來朝した、同氏の來朝の目的はアメリカの有名な女優でフリーランサーとして活躍して居る人達を日本の舞臺に立たせて、御挨拶をさせやうと云ふ此の上もない耳寄りな計畫を持つて來たもので即ち妻のベティー、カンプソン孃は此の九月十日頃横濱入港の「秩父丸」で來朝、東京の某映畫劇場より挨拶をしてバイオリンと踊りでお目見へする筈で引續いてベーブダニエルス、ルースローランドグロリアスワンソンの三スターも來朝を豫定されて居る

盛大に擧行された イスラン大會
協會成立宣言を發す

全滿二百二十萬の回敎徒を代表する全滿イスラン代表大會は三日午前十時清眞寺境內に於て約五百名の各地代表出席のもとに盛[illegible]大會は馬顯[illegible]始まり馬氏[illegible]イスラン協會成[illegible]準備委員會[illegible]あり、次で[illegible]奉天代表[illegible]り會長その他役員を川村狂堂氏より指命する緊急動議し滿場一致の贊成を經た後、川村氏より本協會の會長以下各役員を次の如く指命あつた

會長 丁一青
副會長 張仲三
同 鐵汝張
理事長 韓集齊
常務理事 全夢周
　王敬一
監[illegible] 鐵弼臣

次で滿場拍手裡に宣言を朗讀來賓の挨拶、會員の演說ありたる後丁會長より滿場の決議に基き川村狂堂氏を本協會總裁に馬顯異、王殿忠兩氏を名譽會長に推薦せるが、川村氏は直ちに辭退せるも滿場一致再推薦し川村氏は再考の上、明日協會に回答する事となり一先づ休憩、午後引續き開會各地の提案審議に入つた、かくて全滿回教の大本山とも云ふべき滿洲イスラン協會の創立はこゝになつた

滿洲イスラン 協會宣言

吾がイスラン教は天下に發言し世界に流行ず、その社會人心に繋がりとなり法律を補救せるは已に世界人心の均しく認めるところである、玆に帝制實施されて國基益々鞏固をいたせるの時各地已にイスラン協會の設立あり組織の擴張を擬すべく新京に總會を設け各地分會の倡導に便せしめ教旨を闡し正義を求め宗教による福利を謀り社會のため安全を策して政治に渉らず專ら教旨を明かにすこゝに特に宣言す

居住消息

▲寺坂亮一氏（岡山縣）大から花園町五丁目三番地七十六號ノ二へ
▲佐々木多計男氏（北海道）老松町十八番地松龍アパート內へ
▲曾村福夫氏（群馬縣）花園町五丁目三番地八十一號ノ二へ
▲飯島傳修氏（茨城縣）大和通り七十六番地へ
▲藤江高次郎氏（岐阜縣）羽衣町三丁目二十六番地深谷方へ
▲福岡愛藏氏（鹿兒島縣）中央通り五十番地へ
▲林數馬氏（山梨縣）曙町二丁目三十番地へ
▲宇都宮朝美氏（熊本縣）梅ケ枝町三丁目二十番地へ
▲岩崎忠良氏（鹿兒島縣）祝町二丁目十五番地へ
▲熊谷茂樹氏（島根縣）敦化から老松町二十番地吉川組へ
▲谷口松夫氏（福岡縣）東三條通り十番地立山方へ
▲辻市和七氏（岩手縣）住吉町一丁目十八番地永井方へ
▲松本嘉則氏（埼玉縣）同上へ
▲村上笑三氏（東京府）富士町二丁目十一番地新陸旅社
▲松隈常藏氏（佐賀縣）吉野町一丁目六番地へ

轉居

▲船木常藏氏羽衣町一丁目二番地から常盤町三丁目十二號ノ一へ
▲小松福松氏平安町三丁目五番地から白菊町三丁目十六番地ノ一へ
▲清水熊次郎氏富士町三丁目十三番地から北安路海軍公館敷地內へ
▲林勇氏中央通り九番地から羽衣町二丁目九番地ノ五へ
▲谷口慶弘氏中央通り四十番地から新發屯滿洲國警察官吏聚合住宅三十一號へ
▲秋山炭六氏白菊町五丁目三十二番地からハルビンへ
▲立山駒太氏白菊町三丁目十四番地から東京市板橋區へ
△木本七三郎氏三笠町三丁目十五番地から東三條通り十番地大山方へ

慶福

▲松尾久八氏（老松町二丁目十八番地）長男隆久さん二十二日出生
▲柳澤一健氏（日本橋通り二十五番地ノ二）長男一天さん二十四日出生

風雲をよそに
黑龍江を溯行して（上）

チチハル〇〇〇所屬　日高富明氏談

【チチハル國通】頻々たる不法射擊や越境、暴行で最近話題の中心になつてゐる黑龍江とはどんな河か？チチハル〇〇〇所屬日高富明氏は去る六月七日當地發呼馬、鷗浦、漠の三縣河其他沿岸の狀況を視察すべく汽船〇〇號に便乘溯江し無事目的を果して此程歸齊したが諸狀況について見聞を語る

沿線の風景

黑龍江を溯つて意外に感ずるのは山紫水明の風光である、洋々たる河水に淡い黑褐色の波を立てゝ船員のかける櫓音頭を聽きながら河川灣曲の方向に應じ一方は懸崖一方は平地の間を行くのはあだかも木曾川を行く感がする、鷗浦上流は概ね山中を通過する樣なもので此間緣深く、草木は地を蔽ひタンポヽ、スミレ、ツヽジ、山シヤクヤク、野バラ鈴蘭等百花艶を競ひ、實に和やかな感じに打たれる、兩岸の森林は白樺、落葉松、赤松等が密生して居るが殊に白樺の近景遠景は言語に絕する趣がある、又斷崖に枝振り面白き松樹等を見れば身北緯五十二三度の邊境にあるを忘れ恰も瀨戶內海を靜かた航行して居る樣に思はれる、江上到る所に樹木鬱蒼たる中洲があつて水禽の驚いて飛立つ樣は筆紙に表はせ得ない景色である

人口の分布

斯の如き風光絕佳なる廣大なる地區に於ける人口は實に稀薄であつて愛琿縣が他縣に比し最も多く約百五十名を數へ呼瑪縣約千七百人中日本人十名、鷗浦縣約千三百人中日本人三名、漠河縣約千七百人中日本人は目下入漠せる杉頭奉仕團を加へて約三十名であり其他山地一帶に亘り狩獵の民オロチヨン族約三千七百が散在して居るのみだが、日本人中の婦人は悉く嘗て當地方の盛なりし頃來つた娘子軍で殆んど九州出の者であり、三十年以上も江岸に住み殆んど皆が各地村落に於る滿人有力者の妻となり言語風俗等は全く滿洲化して居るが、精神に於ては決して大和撫子に背かず滿人の間に立ち雄々しく立働いて居るのは實に感心と云ふか感激の至りだ、漠河に二十年も生活して居たと云ふ某婦人の住居は一見滿洲風のものと異り日本式模樣に構造せられ樹木を庭內に植込み恰も小待合を見る樣に思はれたが、如何に日本人が故國の文化を忘れ得ざるものなるかを看取し轉た感慨無量であつた、江岸一帶にはロシア婦人多く從つて其の混血兒亦多く子供等の服裝はロシア文化の影響を受け洋裝をなし、日本の僻地よりも稍々文化的の樣に思はれる、只子供等の榮養は良好なるも眼病を患ふ者が比較的多い、當地方に於る混血兒の問題も將來如何に之等を敎育すべきか、混血兒の增加を放任するか否かは當局の考慮を要するものと思はれる

赤露の脅威

前述の樣に當地方の人口稀薄なるは過去に於て屢々ロシア側より治安を擾亂せられ又は侵略されたることに起因するもので其の最も極端な例を擧ぐれば北淸事變の際黑河に於て約四千人の漢民族は露人のため虐殺され、今なほ「アムールの流血」として人の口に上つてゐる、露國は爾後六年間愛琿を占領し駐兵して居た爲め光緖卅三年の撤兵後に於ても黑龍江右岸に於ける露國の勢力は絕對的優越を保持し住民を壓迫して居たが民國十八年ソ支紛爭に際し、赤衛軍の暴虐に住民は虐殺され家屋の燒却等凡有る壓迫暴行を加へられ之が爲採金夫の離散を見、續いて住民の避難山東に歸還するもの續出し沿岸各地とも住民の數激減するに至り次いで滿洲事變勃發以來馬占山一味の反逆事變の混亂に乘じ、對岸より渡航し、掠奪暴行を爲すもの尠からず、今日まで黑河以北に於てその被害十數縣に及ひ、中には全滅した村落もあるといはれて居る右の如く對岸ソ聯邦人の匪賊的行爲によつて絕えず脅威され、壓倒せられて居た狀態であつた

海の外から

野生のペリカン鳥
桑港へ向け出發

アメリカ大陸の太平洋岸に棲息する野生の珍らしい候鳥ペリカンは夏季に入つたので多期を過した英領コロンビアから目下續々サンフランシスコへ向け渡り鳥式大群をなして血煙りたてつますらほのつとめつくして君は神去けり

比島の蕃境に
金鑛發見さる

フキリッピンは食人種の住む蕃境に、これはしたり金鑛が發見された序で米國では何如にして蕃人イゴロット族におしようと目下思案中であるが、征伐しない以上、人喰ひ人種のことだから恐ろしいとあつて寶の山を開發するに苦慮中とある

出發してゐる

忠靈塔寄附者（三三）

新京日日新聞社扱

▼金十圓日本橋通東省實業內大島研修▼五圓新京署內KT生▼三圓八島町四六森口爲一▼二圓祝町二ノ四寄藤正巳▼三圓大和通二岡保千太郎▼五圓永樂町三ノ二二鹽原セキ▼十圓千島町小倉久雄▼三圓大和通濱百太郎▼二百五十圓吉野町一ノ五一燈園光の會一同▼十圓永樂町三ノ二一菅沼タネ▼八十四圓新京居留民會寬城子居住者內譯十圓大西多吉▼十圓寺田力吉▼五圓濱伍千六▼五圓川上才一▼五圓山田馨▼五圓村上正三▼五圓葛葉末吉▼五圓石井彥太郎▼二圓宛井上高喜、朝口山房子、飯島已之松、南村淳、藤原千里岸　業▼一圓宛石井長右衛門田森筆一、柴田流、佐々木一郎、山本金太郎、中島政治、岩崎鐵市、白石攝、藤野中三官澤次郎、荒川秀次、佐々間武、福田稔、高岡龍雄▼櫻木德造、難波禮作、田尻保、泰靜三、河內一三郎▼五十錢宛上森圭一、若松盛繁　川瀨定男、權田ヒサヱ、菅野由吉▼十圓室町四ノ一鈴木工務所▼十圓室町鶴殿長壽惠▼二圓同長重▼一圓宛同壽香、同壽數、同重正▼五十錢宛同綾子、同國子、同近子、同壽子、上田軍義、針浪藤平、塚婆利▼二百七十八圓新京旅館組合有志內譯－二十圓富士屋旅館カ村サトヨ、十圓新京ホテル西味武太郎、十圓常磐旅館相原楚一、五圓吉田屋旅館光永重喆十圓大和旅館大道態一、五圓松屋旅館中村熊吉、十圓大丸旅館寺崎竹次郎、十圓梅屋旅館井上ミネ、十圓協和旅館石橋逸雄、十圓扶桑旅館江頭ハル、五圓大丸舊館辻シゲ、十圓旭ホテル森重六、八圓長春旅館平尾美明、五圓巴旅館八卷寅吉、五圓大實旅館松崎一郎、五圓喜久屋旅館藤山シメヨ、五圓萬屋旅館平野サダ五圓京都旅館菅沼タネ、十圓愛國旅館後藤カツ、五圓松山旅館杉山キヨ、十圓國都ホテル千葉チヨ、十圓中央ホテル松原達治、十圓都ホテル小林竹次、五圓新都旅館岩崎熙、五圓日本橋旅館長倉英夫、十圓白石旅館白石米吉、十圓蒙旅館菊地トミヱ、五圓北滿旅館岩吉末松、十圓太平旅館清水德太郎、十圓太陽ホテル小泉專治、十圓東亞ホテル南黨五圓蔦屋旅館坂本トウメ五圓國華ホテル長島重藏▼五圓大和通稻島實▼十圓崇智胡同向井みな子▼二十圓中央通裕泰號內岡田穰▼十圓吉野町菅野正助▼五圓日本橋通國際藥局▼五圓大和通田坂直通▼二圓赤ヽ二生▼三圓日本橋通廣本方林則秀▼五圓浪速町竹內源次▼三十圓正隆銀行新京支店員一同▼二百四圓第五區町內北山組岡扱＝內譯＝▼三十圓八島通石崎廣治郎▼五十圓平安町井上香木▼十圓中央通古河電氣工業株式會社支店▼五圓同上店內福島又二▼三圓八島通吉田順子▼五圓常盤町高岡宇佐之助▼二圓同町三谷金市▼五十圓中央通千葉修一▼三十圓中央通國都ホテル從業員一同▼一圓千島町高木翔之助▼三圓千島町牧良平▼三圓千島町田中勝商會▼一圓渡邊金太郎▼五圓中央通進和商會▲一圓千島町渡邊▼五圓北山京平▲十圓鐵北朝比余金造▼二十圓新京大馬路松田彌三郎▼五圓住吉町永井誠▼五圓曙町森下とく▼十圓中央通菊地工務店淸永伴三合計九千二百五十二圓三十二錢、▼百圓新京鐵道事務所

累計九千三百五十二圓三十二錢

◇文藝◇

日日歌壇

西村、糸田兩大尉の英靈を謹弔　石川生

おしみても尙あまりありますらほの

（つゞき）血煙りたてつますらほのつとめつくして君は神去けり

尊き犧牲いたましざかなあまかけり

喫茶店風景　王寺芳夫

えゝとそこはたしかに
赤い灯のつく人生の一斷面に
違ひないさ、ブロンドの髮に
ボブリンガウンの小娘よ
あのウ　カルピス？ネ
うんにや去年のカルピスなんか酢つぱくて飲めるもんか
じやソーダー水？ネ
よし昔の事はもう忘れてしまえ
でもウ　想ひ出と云ふものは
そーそれ　其ソーダー水か？
ウン次から次へと湧いて出るんだモン
クリームの香りする十五の娘よ
浮氣は心にしみる爽かな朝の風だ
大きく吸ひ込んでー
六、二十九

質　大口參上相談　質出シ勉強　流質品安賣　冨士町三丁目　益豐質店　電話二七七番

コドモマンガ　ケンノンコゾウ

（1）コレカラキイタオホオトコハ、タドンノヤウナメチヤムチヤイテオコリダシマシタ「キタナウゾウムシドモ、サアモウカンベンナラヌ、ダンゴノヤウニ一ヒネリダゾツ」トウヌクト、イキナリチヂカノポンキチヲツマミアゲテ、ブン／＼ペロペラノヤウニフリマハシタ「タターツ、メガマワル／＼」

1
サアドウダ
メガマワルタスケテクレ

（2）サンザンフリマハサレタポンキチハ「ヤッ！」トイフカケゴエトトモニ、コクウハルカニナゲアゲラレタ「ウワーケンノンケンノン、ダガイ、ケシキダナ！ニツポンカイガ一メニミエル」トノンキナコトヲイツテキル、シタデハトリカタガポカントクチヲアイテアレヨ／＼トナガメテキル。

2
ヨイケシキダナー
ウワタイヘンダ
ツヅク

放送プログラム
四日（水曜）新京

前 六、〇〇 ラヂオ体操
同 八、〇五 經濟市況（東京より）
同 一〇、三〇 ニュース（東京より）
同 一〇、四〇 經濟市況
同 一〇、五九 時報レコード（滿語）
同 一一、三〇 ニュース（滿語）
同 一一、四〇 ニユ、ス 經濟市況（東京より）
後 〇、〇五 經濟市況（奉天より）
同 〇、三〇 演藝レコード（滿語）
同 一、〇〇 演藝（滿語）蓮香班 彩鳳
同 二、五〇 經濟市況 ニュース（東京より）
同 三、二〇 ニュース
同 三、三〇 經濟市況（奉天より）
同 四、三〇 ニュース（滿語）
同 四、四〇 ニュース（鮮語）
同 四、五〇 ニュース（英語）
同 五、〇〇 子供の時間（奉天より）
同 五、三〇 時事解說（滿語）
同 五、五五 氣象豫報 プロ豫告（滿）
同 六、〇〇 ニュース（東京より）
同 六、二〇 講師 滿語講座 高宮盛逸
同 六、四〇 講師 日語講座 植松金枝
同 七、〇〇 漫談（大阪より）花月亭經丸
同 七、三〇 非常時ですぞ（東京より）荒木古野 尺八
同 七、四五 連續ラヂオドラマ（東京より）嚴窟玉（第四回）黑岩涙香譯 JOAK文藝部編輯 物語 德川夢聲
同 八、三〇 時報ニュース（東京より）ニュース
同 八、四五 氣象豫報プロ豫告
同 九、〇〇 演藝（滿語）引續きニュース（滿語）

日本の聖女
生田葵　南部鶴平畫

一四五　蹴上茶屋の亂鬪（八）

それは自分の方から戰ひを挑む体で、ヂリ／＼と進み行くと案の條、古谷も菅谷も此方が進むだけ後退りするのであつた。

然うした隙を放れて、注視してゐた吉兵衛は、思はず顏邊に微笑を浮べて心の中でひとり快哉を叫んだ。

『五人揃つて、打懸つて行つて、三人はやられ、殘る二人にしてもあの太刀先のみだれ、だらしがないつてありやしない』

併しまだ勝負の結末がつかないので、吉兵衛は雲破と云はゞ、いつでも取出して、懷中に忍び込ましてある短銃へと懸げてゐる手はゆるめなかつた。

騷ぎを聞き附けた近所の者や、街道を通る旅人達は、怖いもの見たさに、押し懸けて來て、茶店の前は黑山の人であつた。

茶店の亭主初め女房や女の傭ひ人達は、然うした群集に、ちかく入口の邊りにかたまつてがた／＼顫へてゐた。

『此方の侍の五人はみんな刀をもつてゐるのに、相手は一人の虛無僧で、しかも刀なしの木刀、それでゐてその木刀をもつ一人の虛無僧に三人までやられるなんて、なんといふ弱いこつたらう』

『一體何方が親人で、何方が敵なんだ』

『普通の喧嘩かそれとも仇討ちやないのか』

『虛無僧姿はしてゐるが、あれは武藝の修業者なんだらう』

黑山の見物人は、野放圖にもそんな事を、口々にさゝやき交してゐた。

いつまでも古谷にしても、菅谷にしても打込んで來ないので、數之丞は少々面倒くさくなつた。

何とか、早く片を附けねばならない。町役人などか出張つてきたりして、邪魔を受けるのは厭であると思つた。

それで相手が打込んで來られるやうすきをみせると、果して菅谷の方が突き込んで來た。又も無返しの秘術で身をかはし、相手の泳ぐところを後頭部を目懸けて打ちドした。

菅谷は前のめりに倒れて、之も氣絶して了つた。

殘るのは古谷一人となつた。

『古谷氏、刀を納められては如何ぢや。拙者此儘引いても異存は御座らぬぞ』

『何をはざき居る』

古谷は自暴自棄になつたものらしく、遮二無二斬り附けてきた。

發止受け止めたと見ると直ぐ木刀は横になびいて、古谷は眞額をわられた。

『アッ』と叫んで後へさがらうとすると木刀は胴へて飛び、古谷は顚倒した。

それを目懸けて數之丞は木刀一打二打と打ち降ろしてゐた。

その時表の群集をかき分けて、儒者らしい姿の男が數之丞へ近づいて行つた。

『森村氏之は何としたことでござる』

群集を搔き分けて其處へ近づいて來た儒者らしい姿の男は數之丞へ聲を懸けた。

『おゝ、之れは梁川星巖さま、何うして此處へ』

『伊勢參宮へ旅立つ知人を見送る爲め、隣家の茶屋に罷在りしに仇打が初まりましたとか、斬り合の喧嘩が初まりしとか、人々が大騷ぎなし居る故、見に參りしに相手は貴殿と存り、そのまゝ見參いたした次第でござる。』

×－×－

興
取引先信用調査
縁談先身元調査
各種企業調査
人事秘密探偵
経済事情内報
貸借整理代行
新京興信所
新京中央通り十三番地
電話三二五〇番・電話ノ前ハスグコンシ

富士
高級電氣扇
富士電機製造株式会社代理店
合資會社
和登洋行
日本橋通り拾八番地
電話二〇四〇番